



開き門扉 AS TH/TR

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

■安全に関する記号と説明

**警告**

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。

**注意**

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。

・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

■ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2a等)

締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に

**警告**

- 門扉は人や車が入り出すためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

施工上のお願い

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工場所の寸法に製品が正しく納まるか確認してください。

施工上のご注意

▲ 注意

- 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- 門柱底面が栗石にとどかない場合、門柱に水抜き穴をあけてください。
- 製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
 - ・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後に、緩みがない事を確認してください。
 - ・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ネジが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。



ネジ種類	タップ側材質	
	鋼材	アルミ
φ4ネジ	1.5 N・m	1 N・m
M4ネジ	5 N・m	2.5 N・m
M6ボルト	25 N・m	12.5 N・m



- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。



- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

基礎工事について

▲ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決まっていますが、現場によって（堅牢な地盤、軟弱な地盤など）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
- 塩分を含む砂および塩素系のモルタル混和剤は使用しないでください。腐食の原因になります。
- コンクリート（またはモルタル）には、急結剤は使用しないでください。使用するとアルミが腐食する原因になります。

チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

●ネジ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	07~12	正しいネジを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

●取付け

No.	ページ	チェック内容	
1	10	ラッチの向きを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	05 08	寸法指示に従って施工しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	07~12	各部部品の取付け向きを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

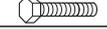
梱包明細表

【1】 本体		
名称	略 図	員 数
扉本体		1

【2】 吊元柱		
名称	略 図	員 数
吊元門柱 (H1200~1800用)		1

【3】 戸当り柱		
名称	略 図	員 数
受け門柱 (H1200~1800用)		1

【4】 部品セット			
名称	略 図	員 数	
		片開用	両開用
戸当り		2	2
ヒンジ		2	4
持送り		2	4
ヒンジシャフト		2	4
ヒンジ裏板		2	4
落とし棒受		1	2
ストライク用プレート		1	—
掛け受けスペーサー		4	12
持ち送りスペーサー		—	12
框キャップ (下)		2	4
落とし棒錠A		1	2

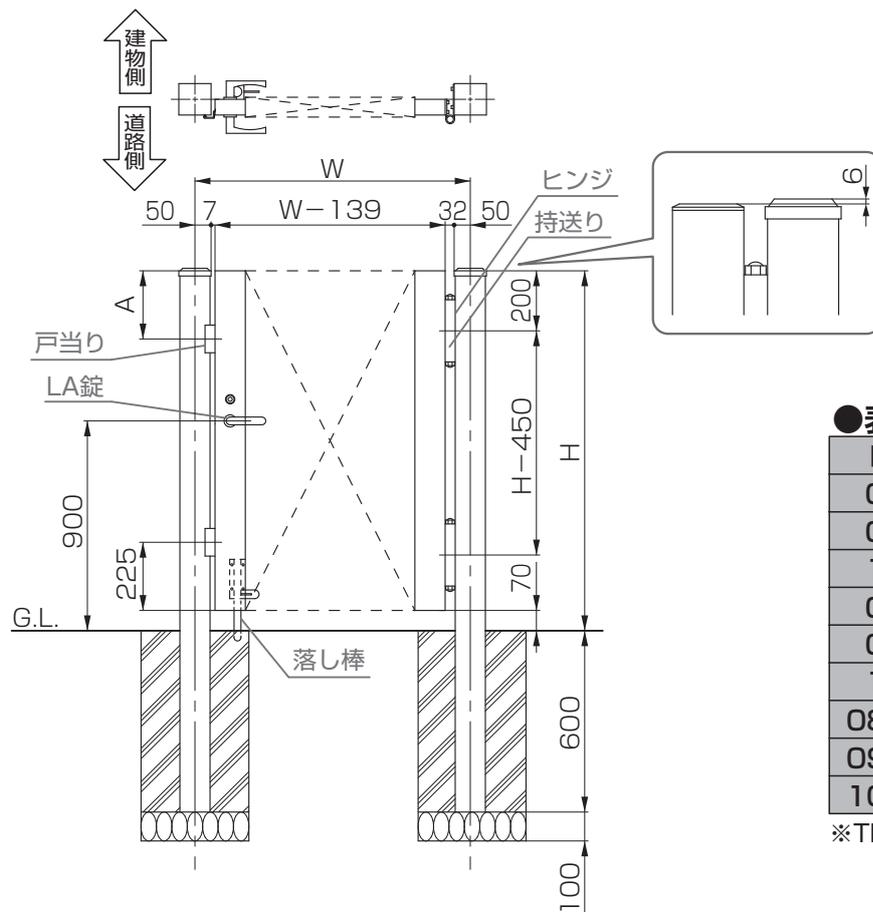
【4】 部品セット (つづき)			
名称	略 図	員 数	
		片開用	両開用
【4a】M8×30六角ボルト		8	16
【4b】M8平座金		8	16
【4c】M8バネ座金		8	16
【4d】M6×18六角ボルト		8	16
【4e】M6平座金		8	16
【4f】M6バネ座金		8	16
【4g】M4×10ナベ小ネジ		4	8
【4h】M16袋ナット		2	4
【4i】M16平座金		4	8
【4j】M6×16ナベ小ネジ		4	8
【4k】φ4×10ナベタッピンネジ		4	4
【4l】M4×14サラ小ネジ		2	—

【5】 錠セット ※現場手配部品になります。		
名称	略 図	員 数
LA錠本体		1
シリンダー		2
シリンダー固定ピン		4
LA丸座A		1
LA丸座B		1
ハンドルA (角芯付)		1
ハンドルB		1
フロント		1
ストライク		1
ストライクプレート		1
シリンダーキー		4
【5a】M4×14サラ小ネジ		6
【5b】M4×20ナベ小ネジ		2

1 基本寸法

※図は、外開きを示します。
※基礎は参考寸法です。

1-1 片開き

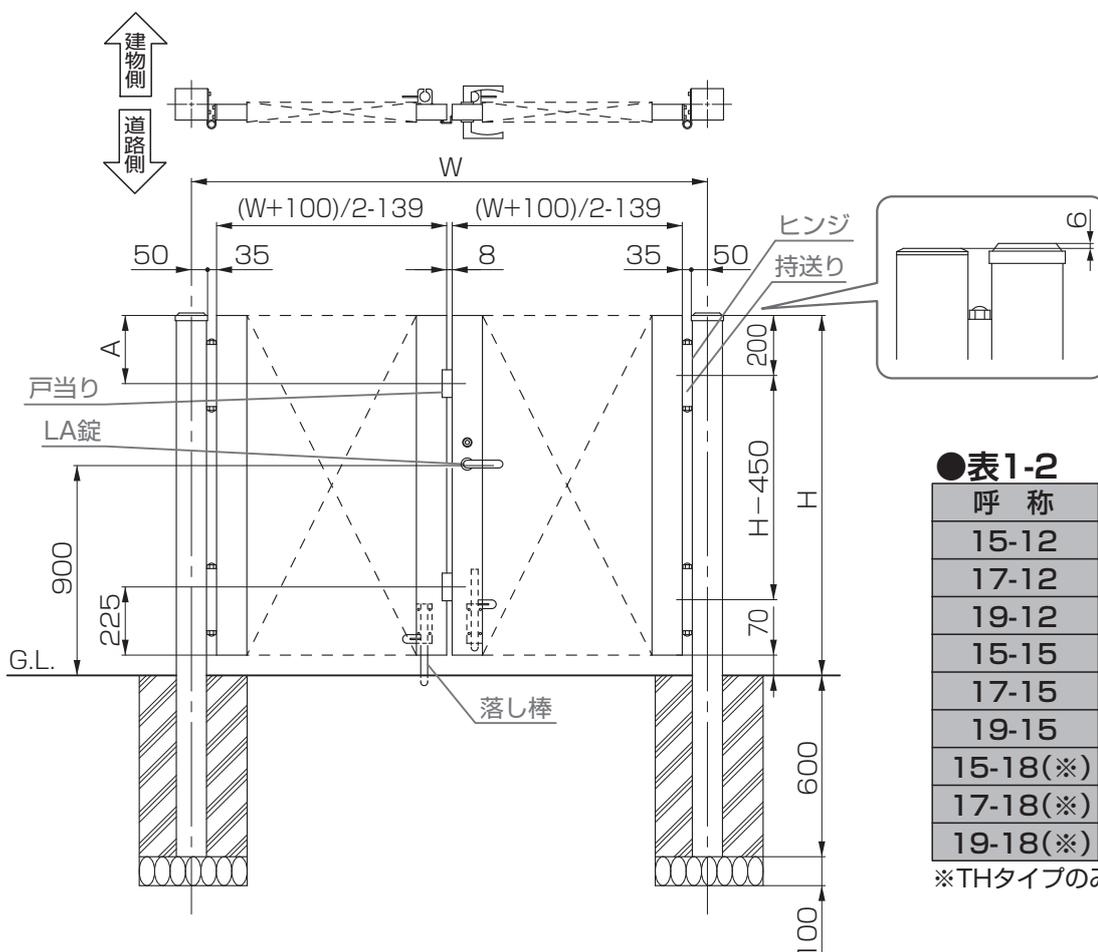


●表1-1

呼称	W	H	A
08-12	800	1200	100
09-12	900	1200	100
10-12	1000	1200	100
08-15	800	1500	100
09-15	900	1500	100
10-15	1000	1500	100
08-18(※)	800	1800	225
09-18(※)	900	1800	225
10-18(※)	1000	1800	225

※THタイプのみ

1-2 両開き



●表1-2

呼称	W	H	A
15-12	1500	1200	100
17-12	1700	1200	100
19-12	1900	1200	100
15-15	1500	1500	100
17-15	1700	1500	100
19-15	1900	1500	100
15-18(※)	1500	1800	225
17-18(※)	1700	1800	225
19-18(※)	1900	1800	225

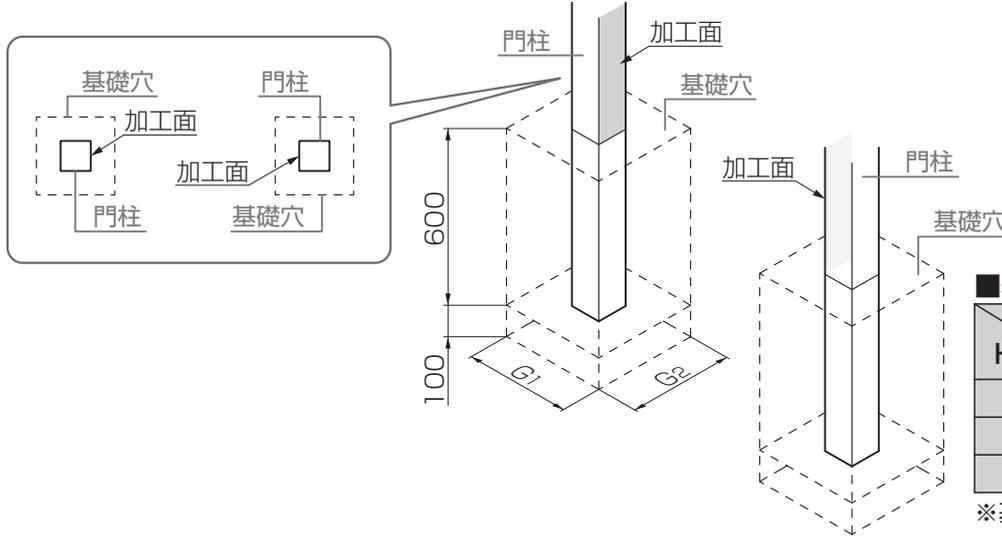
※THタイプのみ

2 基礎の施工

- 1: 間口を決め、基礎穴を掘り底に栗石を入れ、よく突き固める
- 2: 門柱の加工面が内側を向くように門柱を設置
- 3: 門扉本体を門柱に取付け、門扉本体をカイモノにのせ、門柱のレベル、門柱本体の水平・垂直等を確認してコンクリートを流し込み、よく突き固める

施工上のお願い

- コンクリートが硬化するまで、そえ木をして動かさないでください。
- 基礎寸法は短期地耐力10t / m²時の参考値です。



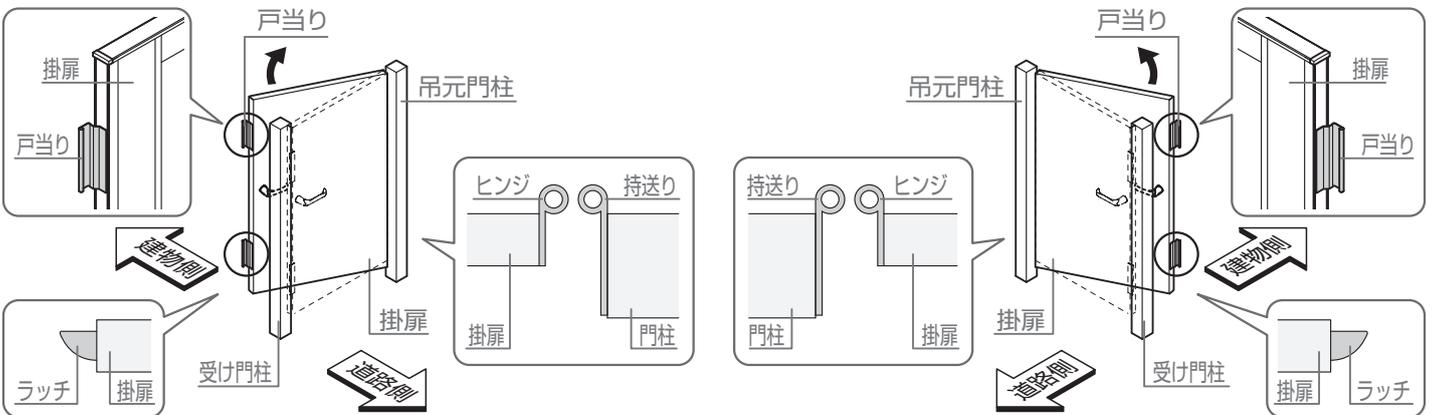
■表2-1

H	W	08	09	10
			15	17
12	350×350			
15	350×350			
18	400×400			

※基礎角数G1×G2は参考値です。

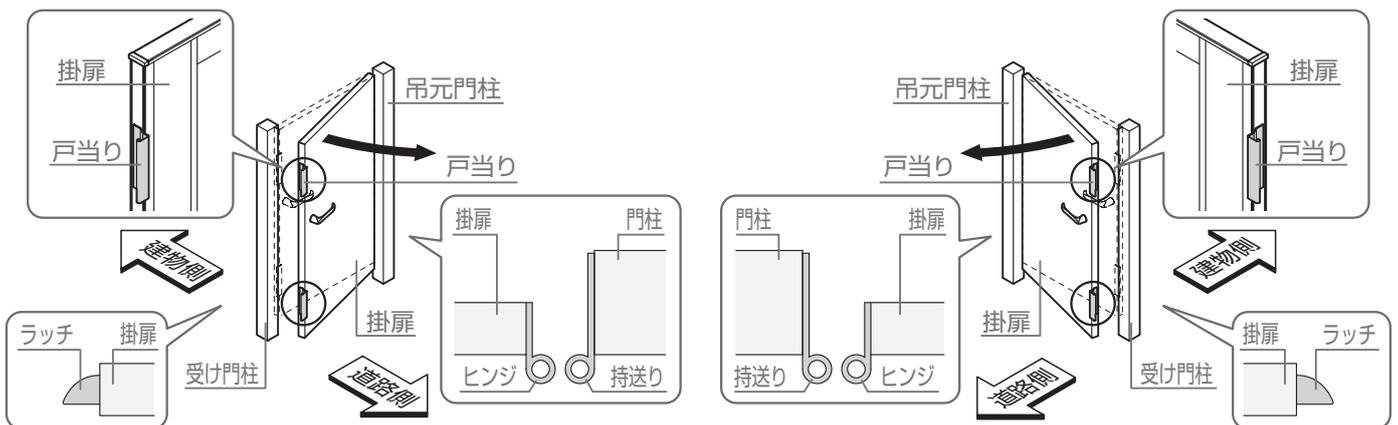
3 部品配置と各部名称

3-1 片開き



▲右勝手・内開き▲

▲左勝手・内開き▲

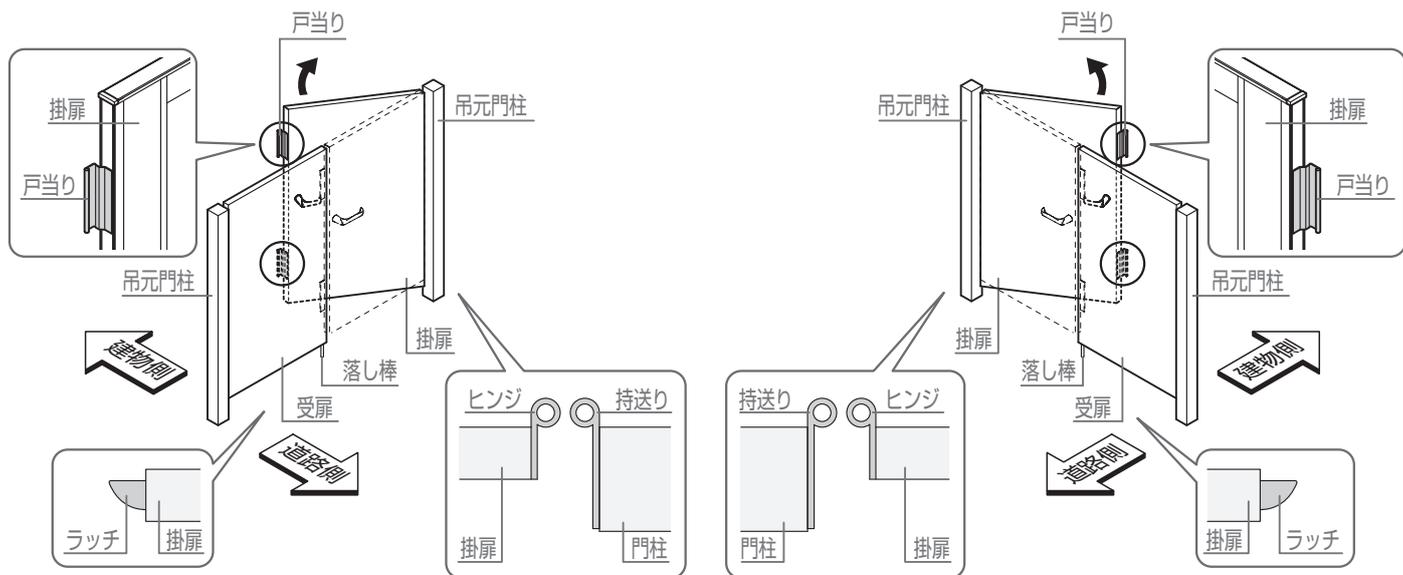


▲右勝手・外開き▲

▲左勝手・外開き▲

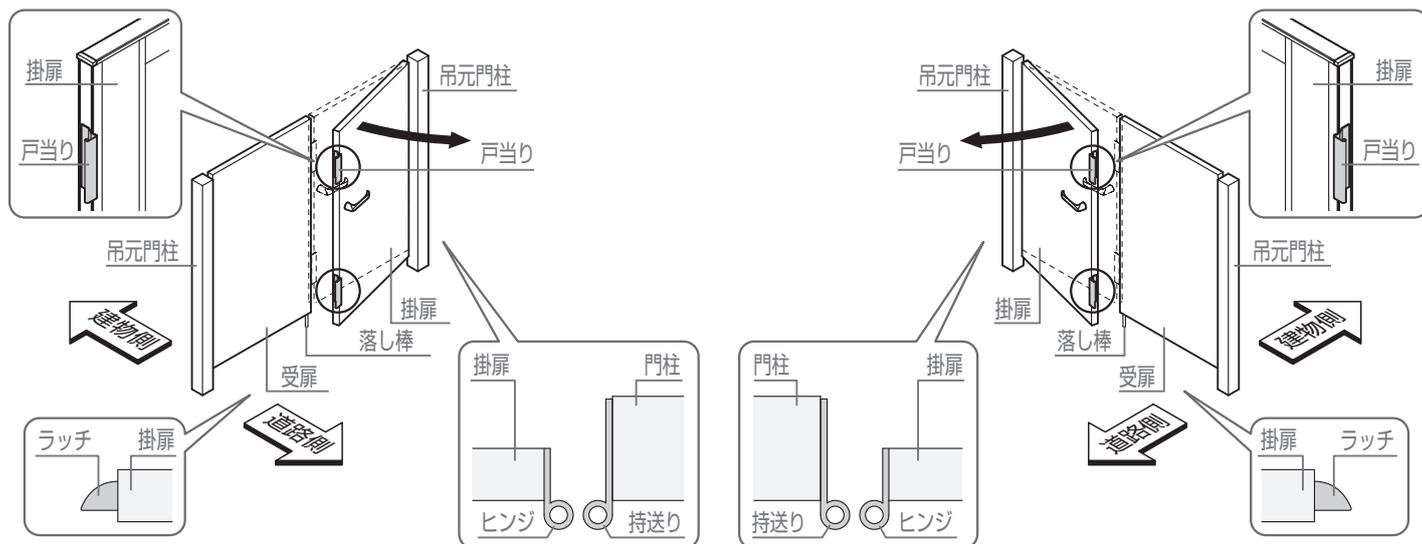
3 部品配置と各部名称

3-2 両開き



▲右勝手・内開き▲

▲左勝手・内開き▲



▲右勝手・外開き▲

▲左勝手・外開き▲

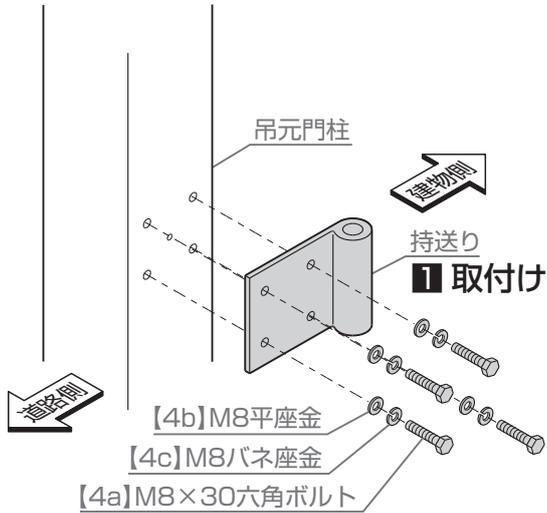
4 持送りの取付け・ヒンジの仮組み、框キャップ(下)の取付け

4-1 持送りの取付け

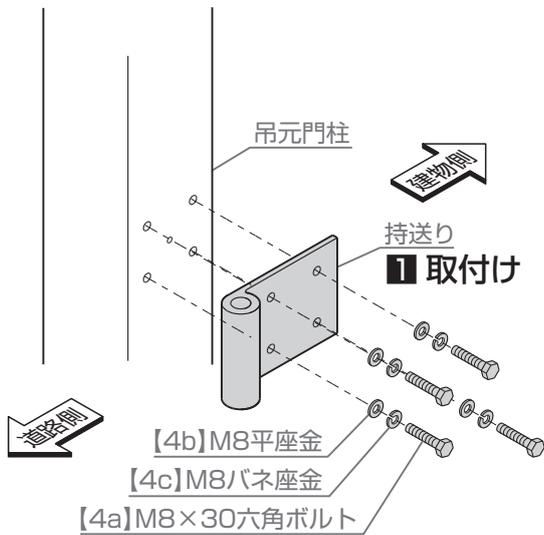
4-1-1 | 片開き

❶: 持送りを吊元門柱に【4a】【4b】【4c】で取付け

▼内開きの場合▼



▼外開きの場合▼

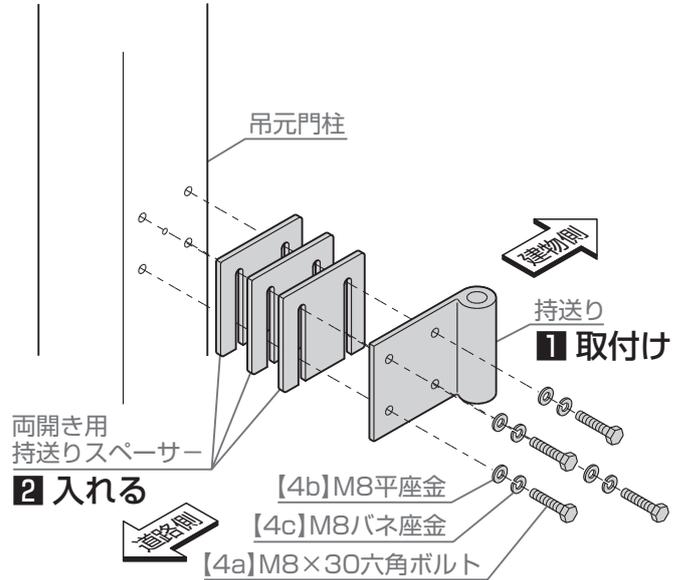


4-1-2 | 両開き

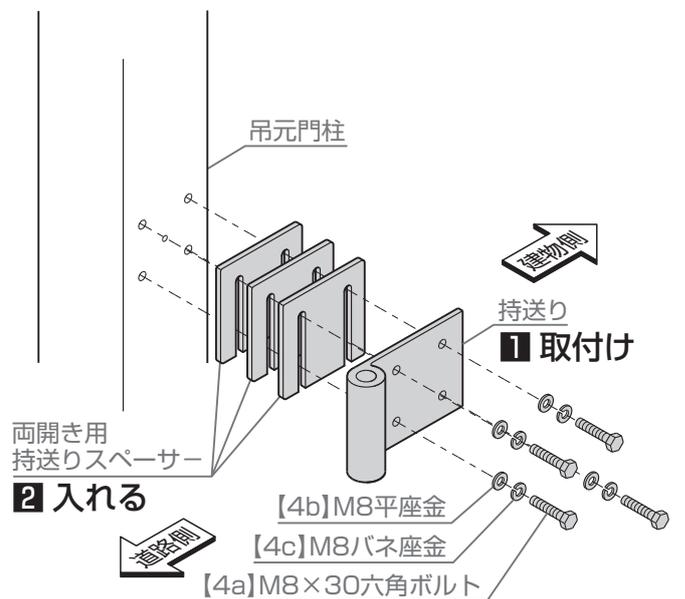
❶: 持送りを吊元門柱に【4a】【4b】【4c】で取付け

❷: 門柱と持送りの間に両開き用持送りスペーサーを入れる

▼内開きの場合▼



▼外開きの場合▼



4 持送りの取付け・ヒンジの仮組み、框キャップ(下)の取付け

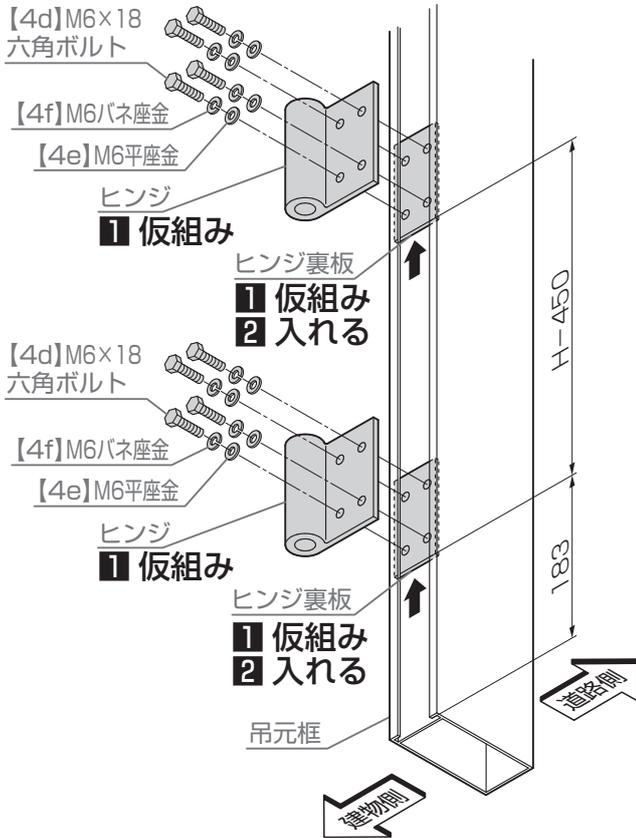
4-2 ヒンジの仮組み

- 1: ヒンジとヒンジ裏板を【4d】【4e】【4f】で仮組み
- 2: ヒンジを門扉本体の下方からスライドして入れる

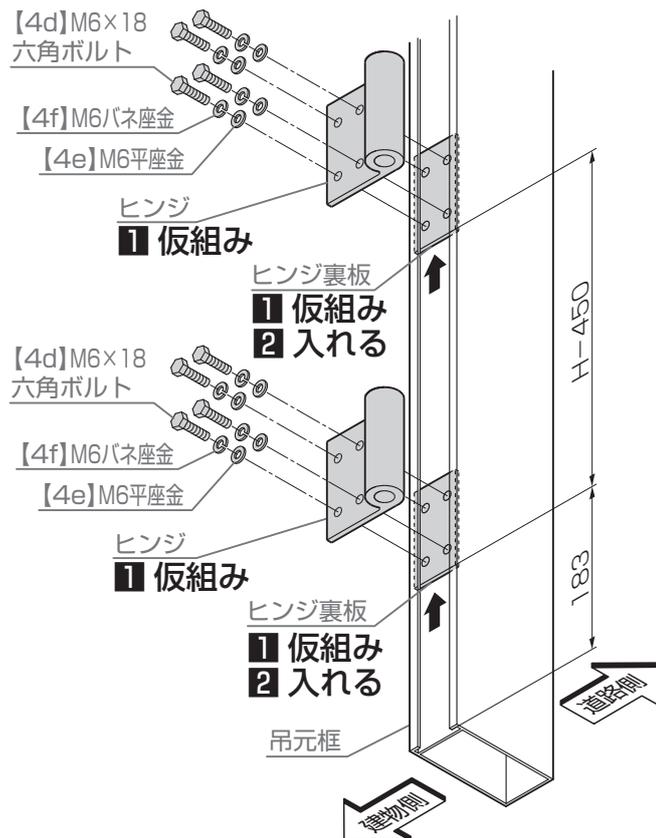
施工上のお願い

- スライドで入れにくい場合、【4d】を緩めてください。

▼内開きの場合▼

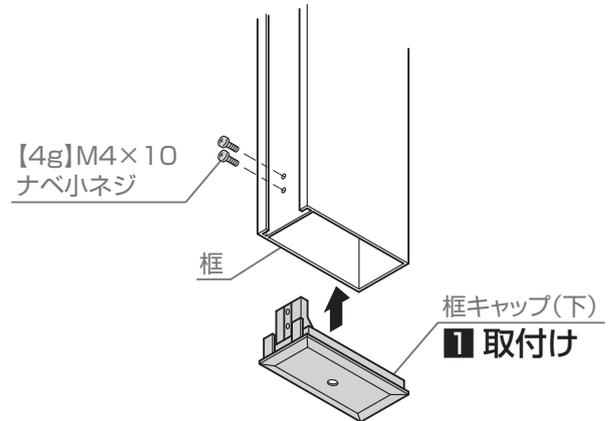


▼外開きの場合▼



4-3 框キャップ(下)の取付け

- 1: 框キャップ(下)を框の下部に【4g】で取付け

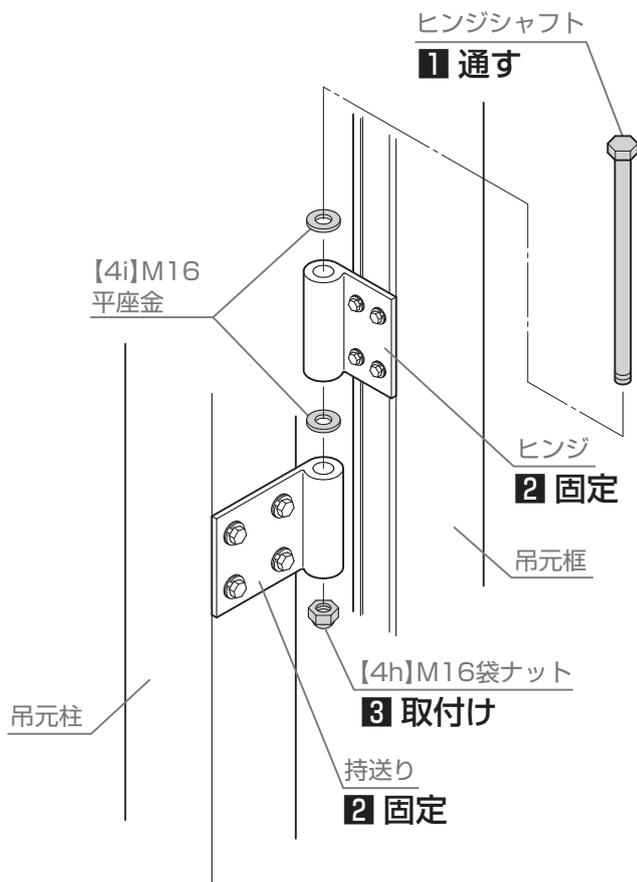


5 ヒンジの取付け

- 1: 門扉上方のヒンジ部分を門柱の持送り部にのせ、ヒンジシャフトを上から通す
- 2: 下方のヒンジを上下調整し、上下ヒンジを固定
- 3: ヒンジシャフトに【4h】を取付け

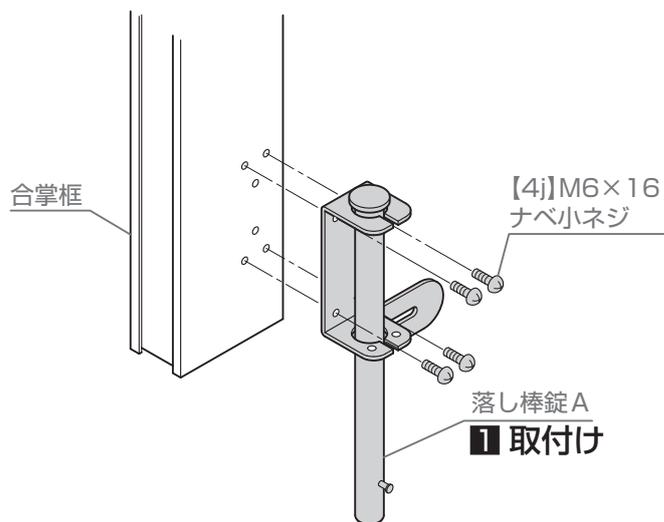
施工上のお願ひ

- 図の位置に【4i】を組込んでください。



6 落とし棒の取付け

- 1: 落とし棒錠Aを合掌框に【4j】で取付け



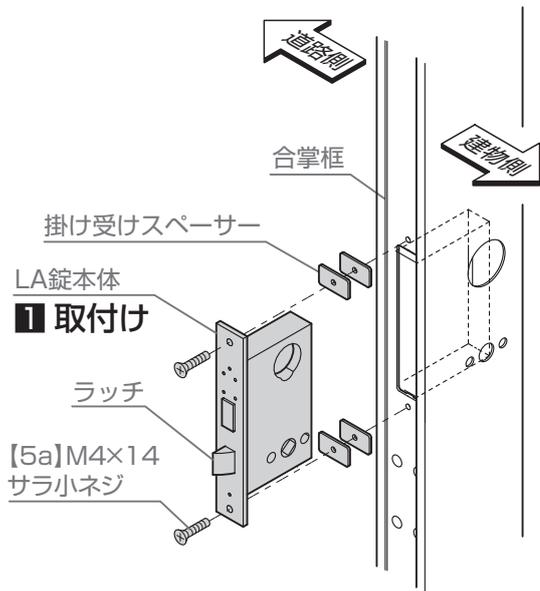
7 錠の取付け

7-1 錠の取付け

1: LA錠本体を門扉本体に【5a】で取付け

施工上のお願い

●反対勝手の場合はラッチを反転させてください。



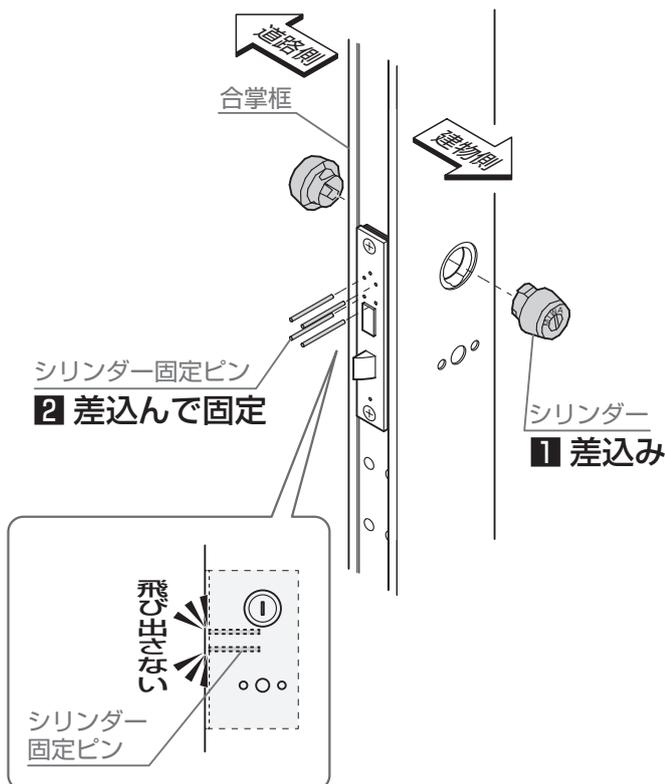
7-2 シリンダーの取付け

1: シリンダーをMIWA(ミワ)のマークを上にして門扉本体に差込み

2: シリンダー固定ピンをLA錠本体に差込んで固定

施工上のお願い

●シリンダー固定ピンがLA錠本体から飛び出さないようにしてください。



7-3 ハンドルの取付け

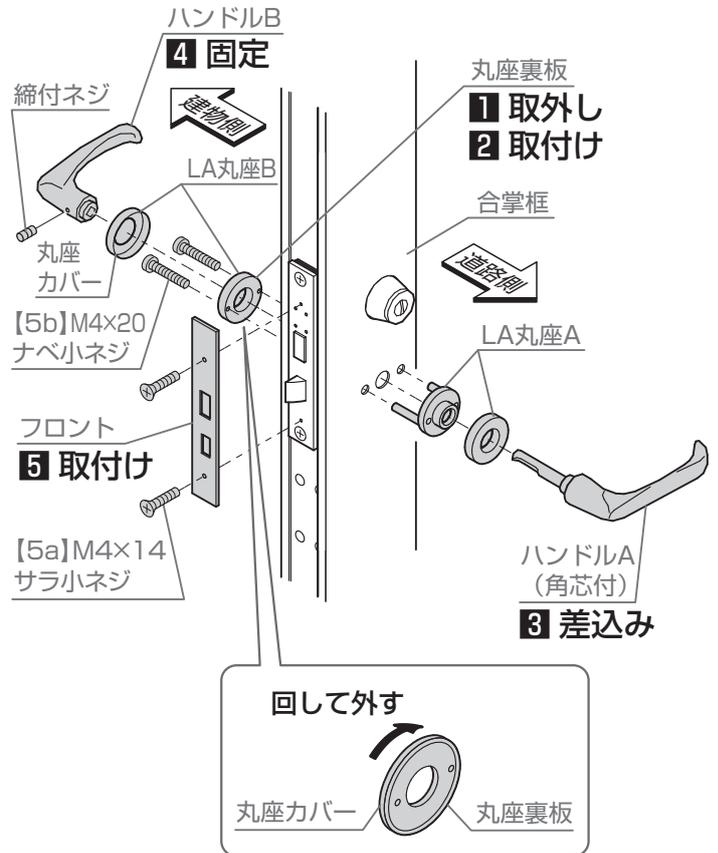
1: 丸座裏板をLA丸座Bから取外し

2: 丸座裏板を門扉本体に【5b】で取付け

3: 道路側からハンドルA(角芯付)を差込み

4: 建物側からハンドルBを取付け、締付ネジで固定

5: フロントを門扉本体に【5a】で取付け



8 ストライクの取付け

8-1 受け門柱

❶: ストライクプレートとストライクを受け門柱の穴に【5a】で取付け

施工上のお願

▼内開きの場合▼

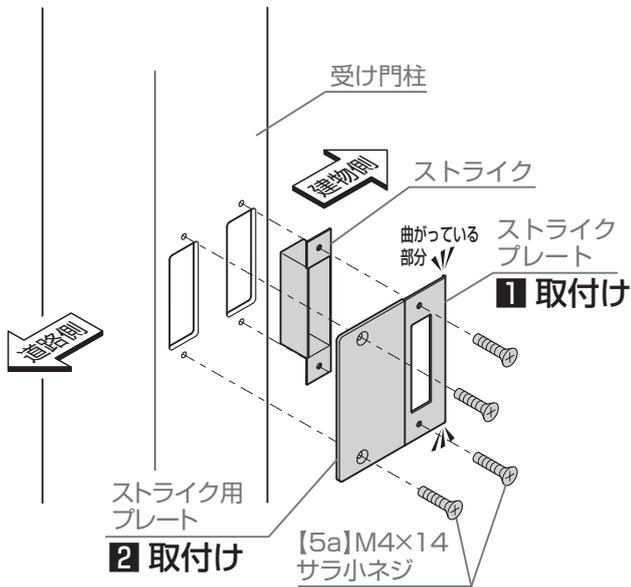
● ストライクプレートとストライクは建物側の穴に取付けてください。

▼外開きの場合▼

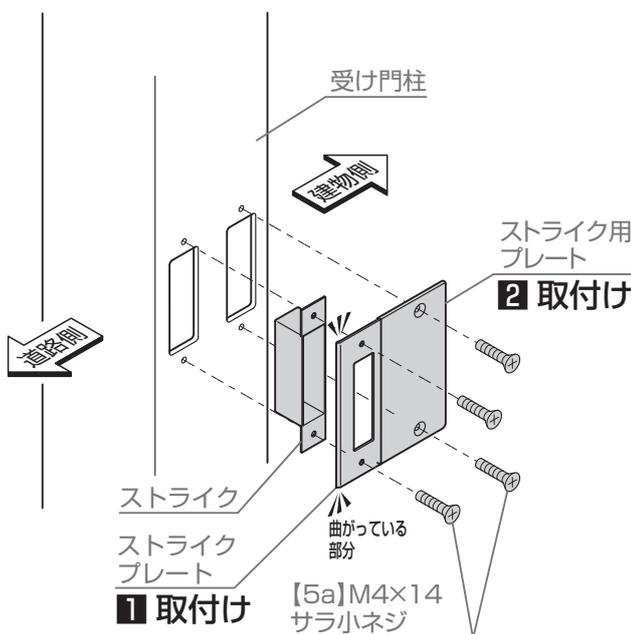
● ストライクプレートとストライクは道路側の穴に取付けてください。

❷: 受け門柱の使用しない穴にストライク用プレートを【5a】で取付け

▼内開きの場合▼



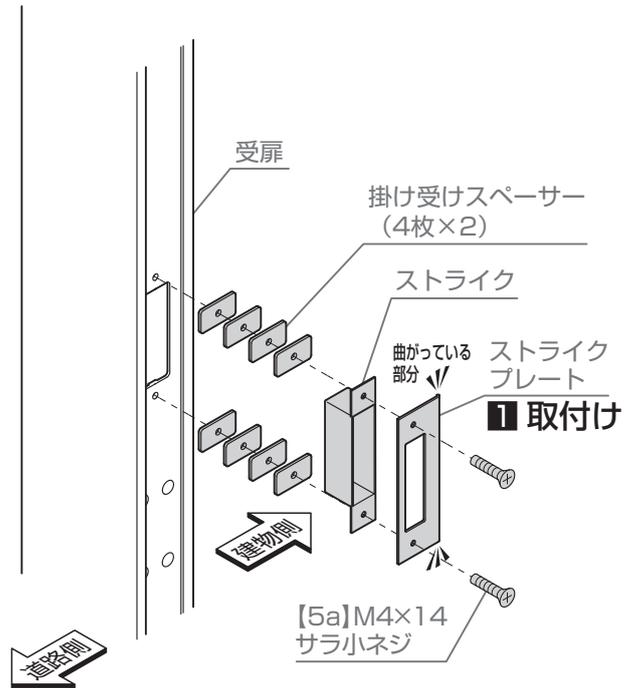
▼外開きの場合▼



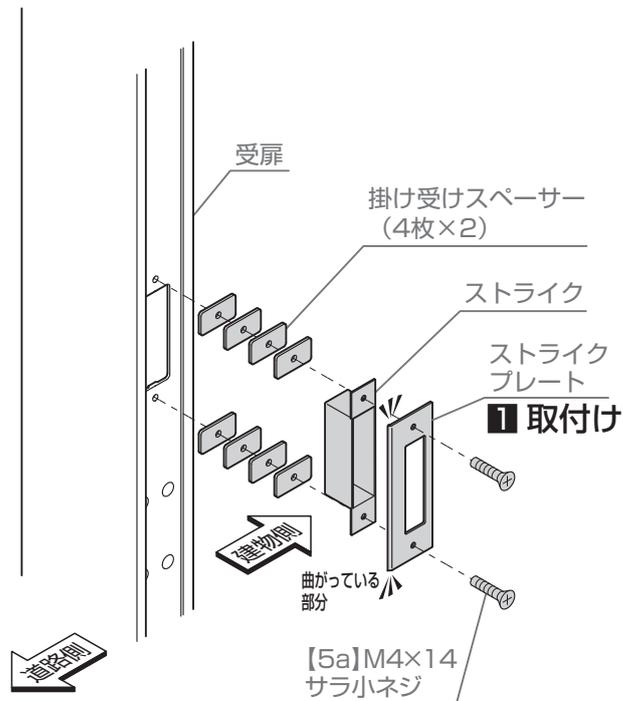
8-2 受扉

❶: ストライクプレートとストライクを受扉の穴に【5a】で取付け

▼内開きの場合▼



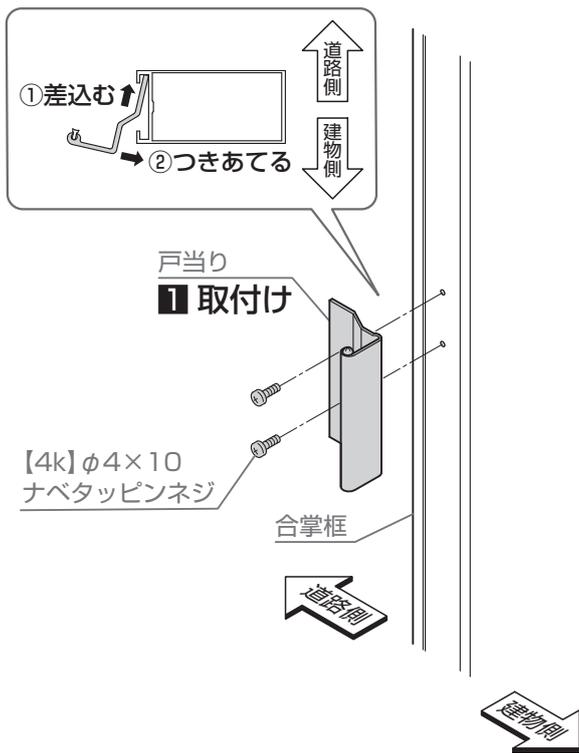
▼外開きの場合▼



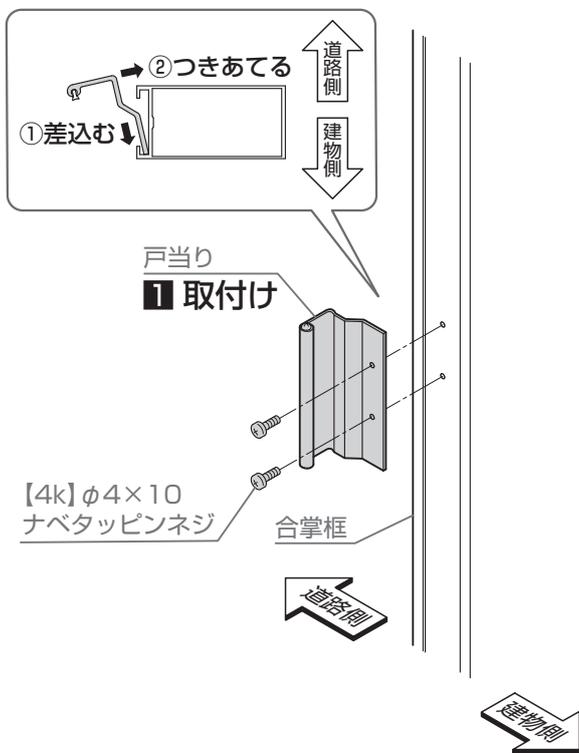
9 戸当りの取付け

1: 戸当りを門扉本体のスライド部に差し込んで、【4k】で取付け

▼内開きの場合▼



▼外開きの場合▼



取説コード

EXM-113

JZZ638713
202307_1049